

1 研究テーマ・本校の取組について

▽研究テーマ

三原特支『付けたい力』を目指した授業作り
～ チームの強みを生かした授業研究 ～

▽研究仮説

小グループのチームによる授業研究を行うことで、全員が役割をもって授業研究に参加し、三原特支『付けたい力』についての理解を深め、教職員全員が三原特支『付けたい力』を目指した授業づくりができるであろう。

学校全体では

学校教育目標

障害のある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立、社会参加そして社会貢献を行うための基盤となる「生きる力」を培う。

育てたい児童生徒像

礼儀 感謝 挑戦

- (1) ルールを守り、挨拶等礼儀正しく振る舞うことのできる児童生徒(礼儀)
- (2) 感謝の心を持ち、それを伝えることのできる児童生徒(感謝)
- (3) 自分を大切に、自らを高めようとする児童生徒(挑戦)

三原特支で付けたい力

知識・技能

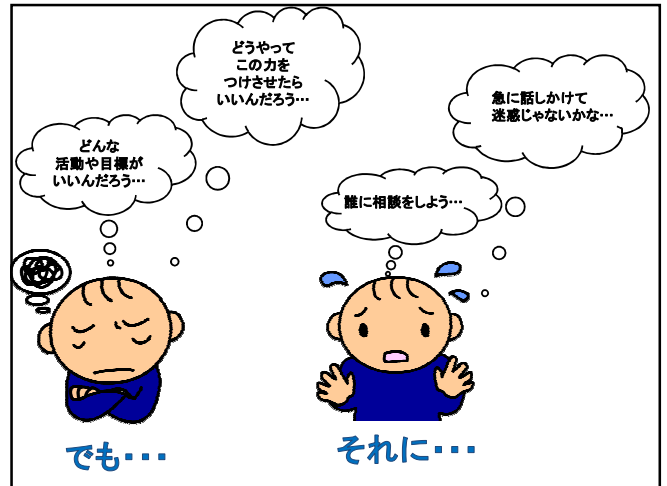
確かな知識・技能
体力

思考力・判断力・表現力

情報活用能力
コミュニケーション能力

学びに向かう力・人間性

主体性
自己肯定感
耐える力
(忍耐力)



それなら

◎チームによる授業改善

◎助け合い・学び合い

学校全体の取組として

- 誰に相談したら良いのか
→小グループの作成
- 何を話したら良いのか
→協議シートの作成
- いつ相談したらよいか
→事前協議日、授業日、事後協議日の集約

2 研究内容について

▽研究方法

1 グループ研究の実施

- 小グループの作成
- 役割分担
 - ・授業者
 - ・記録
 - ・司会、発表
 - ・PP作成者 等
- 年2回の授業研究

2 報告会の実施

- 各グループでの授業研究を共有するため、プレゼンテーション形式で報告会を実施

3 意識等調査の実施

- 「三原特支『付けたい力』」に関するアンケートを実施し、教職員の理解度や意識を確認
- 改善点等の集約
- ポータルアップによる周知

1 グループ研究

- ▽2回
- ▽各学部での小グループ作成
(1年目:9グループ 2年目:12グループ)
- ▽研究の流れ
 - ①事前協議(事前協議シートの記入)
 - ②授業実施(ビデオ記録)
 - ③事後協議(ビデオ+事後協議シートでの授業検討)



動画



動画

2 報告会の実施

- ▽全学部合同
- ▽共通の発表用スライド様式の活用



報告会用スライドの一部→

動画



3 意識等調査の実施

<アンケート結果>(令和元年度)

6月

○「付きたい力」について

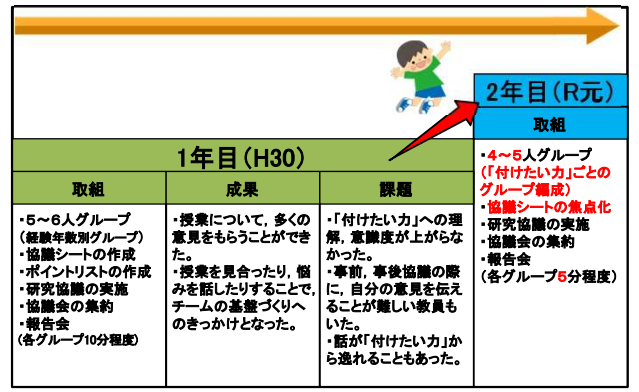
	4 (おおむね理解・意識している)	3 (やや理解・意識している)	2 (あまり理解・意識していない)	1 (ほとんど理解・意識していない)	平均値
付きたい力の理解	7	23	5	0	3.06
付きたい力の意識(単元計画)	5	17	13	0	2.77
付きたい力の意識(授業)	5	20	10	0	2.86

8月

○「付きたい力」について

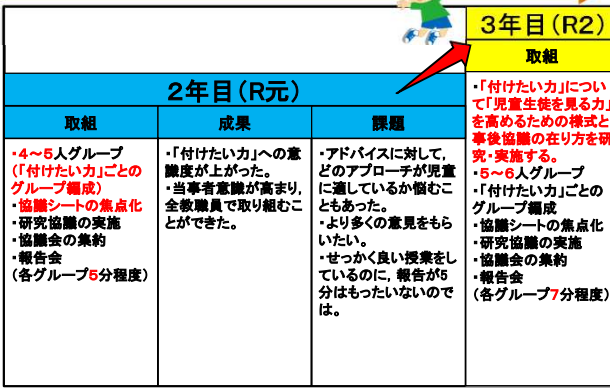
	4 (おおむね意識・理解している)	3 (やや意識・理解している)	2 (あまり意識・理解していない)	1 (ほとんど意識・理解していない)	平均値
付きたい力の理解	9	18	4	0	3.16
付きたい力の意識(単元計画)	8	13	8	0	3
付きたい力の意識(授業)	9	15	6	0	3.1

1・2年目(平成30年度・令和元年度)



3年目(令和2年度)に向けて

富山大学人間発達科学部
附属特別支援学校と連携・協力体制



まとめ

